

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

クサフグの湯治?

道27号が交差する新相生橋のすぐ海側にかかっている相生橋。橋の上から海の方を覗くと何百匹ものクサフグが川底にいます。塩分を

どき体表に寄生虫やカビがわくことがあります。そういうときに一時的に淡水(淡水魚の場合海水)に入れて、寄生虫やカビを殺す治療法があるのですが、もしかするとクサフグもしかするとクサフグはそういう治療を自分でやっているのかも知れません。

でも、気になるのはちょうど産卵期にあたることです。もしかすると川底に産卵している? それとも淡水浴をした刺激で卵が成熟する? 謎は深まるばかりなので、通勤の途中により道をしてできるだけ毎日観察をすることにしました。

でも、寄り道だけだと朝と夕方しか観察できません。そこで、読者の皆さんにお願いがあります。何かの機会があれば川底を覗いていただけませんか。そしてクサフグがいたかいないかを観察日時と場所を併せてお知らせ下さい。川は伊佐津川以外でもかまいませんが、河口から数百メートルまで可能性は大きいでしょう。

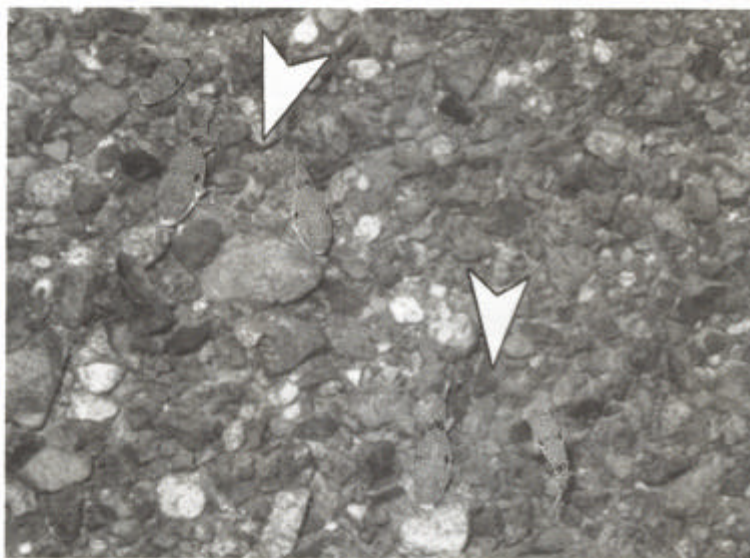
前回ご紹介したクサフグの集団産卵を調べていて、いくつかの本に、大群で川を遡(さかのぼ)ることがあると書かれているのが気にかかっていました。どうせ川底に沿って遡上(そじょう)する塩水くさびという海水に乗って遡上してるんやろうと思っただけです。

さて、川に上ったところから、先日、水質調査に出かけた西舞鶴の伊佐津川でたくさんクサフグが川に上っているのを発見しました。

場所が伊佐津川と国

を飼っていると、とき

湯治中? グが5匹



湯治中? グが5匹
白い矢印の周辺にクサフグが5匹

Webサイト「丹後情報蔵」によると、宮津の犀川や岩滝の野田川でもクサフグの大量遡上が見られるそうです。ぜひともご協力のほどをよろしく願います。